



みなみ小だより

学校教育目標

学び合う子

助け合う子

鍛え合う子

学校だより 3月号
鹿沼市立みなみ小学校
Tel 0289-75-4021
令和4年3月発行
文責：後藤 勝浩



★みなみ小ホームページへ

正射必中

弓道には、「正射必中」という言葉があります。正しく射られた矢は、必ず的に当たるという意味です。弓道では、的に当たる結果よりも、矢を放ち終わるまでのプロセスを大切にします。プロセスを正しく行えば、結果は必ずついてくる、ということを意味しています。

学校でも、子供たちが学ぶプロセスの一つ一つを大切にしながら、学習を積み重ねていきたいと思います。

コロナ禍が続いた令和3年度。制約の多い学校生活を送らなければならない毎日でしたが、各教室では子供たちの笑顔や元気のいい声が絶えない毎日でした。

1年間、子供たちと学校を見守り支えてくださった地域や保護者の皆様、本当にありがとうございました。

第41回 みなみ小学校卒業証書授与式

みなみ小には、たくさんの桜の木があります。桜の蕾も膨らみ始めた3月18日（金）、第41回卒業証書授与式を挙行了しました。PTA役員と保護者の皆様、5年生と教職員に見守られながら、卒業生は立派な態度で式に臨み、本校を巣立っていきました。みなみ小のリーダーとして活躍してきた21名。進学先のそれぞれの中学校で、自分らしい花を咲かせてくれることを信じ、応援しています。



新入生保護者説明会

●当初は2月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、3月2日（水）に延期しての開催となりました。感染症対策をとりながら短時間で実施しました。新入生の入学を心よりお待ちしております。



予告なしの避難訓練

●3月11日（金）、今年度最後の避難訓練を、児童に予告なしで行いました。外部講師は招かず校内での実施としましたが、きちんと避難することができました。命を守る大切さについて、考え・振り返る機会になったことと思います。



●北押原地区の3小中学校（みなみ小・北押原小・北押原中）では、「自ら学び、思いやりのある、たくましい子どもの育成」を「目指す子ども像」に掲げ、小中連携教育【3年目】に取り組んできました。その成果と課題については以下の通りです。

【成果】

- 子供たちの中で、授業における「対話」が自然と行われるようになってきた。
- あいさつや会釈のできる児童・生徒が、だんだん増えてきた。
- めあてを意識して取り組み、きちんと振り返りをするという流れが定着した。重点的な学校行事において、達成感をもてたと肯定的に評価する児童や教職員が多かった。

【課題】

- ▲あいさつや自分の考えを自分の言葉で表現する力を、今後も伸ばしていくことが必要である。
- ▲次年度から、小中連携教育は第2ステージに入るので、より質の高い連携が展開できるように努力していきたい。



6年生を送る会

●2月28日（月）、「6年生を送る会」を今年はオンラインで実施しました。それぞれのクラスで画面を見ながら、6年生教室を発信元に行いました。画面越しではありましたが、1～5年生の感謝の気持ちが6年生に伝わりました。



6年生から5年生への引継ぎ式

●3月11日（金）、6年生から5年生への引継ぎ式を行いました。6年生が先輩から引き継いだ「旗」を5年生に引き継ぎました。「旗」と共に、みなみ小のリーダーとしての役割や自覚を引き継ごうとするものです。



東日本大震災の弔意表明

●11年前の3月11日。午後2時46分に発生した大地震による東日本大震災。その弔意表明を本校でも行いました。半旗の掲揚と、地震の発生時刻に合わせての黙とうを全児童全職員で行いました。



お知らせ

- ①新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、来年度（令和4年度）のPTA総会は書面決議にて行い、PTA歓送迎会は中止とさせていただくことを、先日のPTA役員・代表理事合同研修会にて了承していただきました。
- ②授業参観は、4月22日（金）に実施する予定です。